

菅記念ミニミニカップ男子競技規則

関東学生ハンドボール連盟

財団法人日本ハンドボール協会競技規則に基づいて行われるが、関東学生ハンドボール連盟の特別競技規則の適用及び申し合わせ事項がある。

- a. 役員・選手の登録 = 競技に参加する役員・選手は、日本ハンドボール協会（以下 = 日本協会）及び全日本学生ハンドボール連盟の登録済の者でなければならない。但し、ミニミニカップに限り、大学院生（出場大学大学院在籍者のみ）の参加を認めるが、この場合は、関東学連のミニミニカップのみの出場登録を行う事。
- b. 帯同責任者 = 競技に参加する時は、帯同責任者を義務付けているが、登録されている監督・コーチ・他の役員は成人者で、何らかの事態発生時に対応できる者とする。
- c. 傷害保険 = ミニミニカップ参加選手は何らかの傷害保険に加入していなければならない。
- d. 競技方法 = 参加チーム数の関係で、「トーナメント方式」、「予選リーグ・順位決定戦方式」、「予選リーグ・決勝トーナメント方式」・他で行う。予選リーグの競技方式は、セット制を採用 2 セット先取で勝利。第一及び第二セットを、夫々のチームが取り合った場合は、第三セットに入るが、第三セットでは、競技時間中に 10 点先取か、終了時点で得点の多いチームを勝利とする。第三セットが同点の場合は引き分けとする。
決勝トーナメント及び順位決定戦の場合、前半終了時に 17 点差以上の時、後半開始途中で 20 点差となった時はコールド勝ちとする。
- e. 競技時間（告知の試合予定時間より早まる事が多いので、会場へは早めに来場の事）
原則、予選リーグ採用の間は、第一及び第二セットは各 20 分（休憩は各セット間 1 分）とするが、参加チーム多数の場合は競技数消化の関係で、第一及び第二セット 17 分・第三セット 15 分とする事もある。
決勝トーナメントは、前半 25 分・休憩 5 分・後半 25 分とする。また、参加チーム数により、研修試合を設ける事もある。研修試合の競技方式は、その都度、決定。
- f. チームタイムアウト = 採用しない。
- g. 順位の決定
勝 = 2 点、引分 = 1 点、負 = 0 点で、勝ち点の多いチームが上位。
勝点が同点の場合は、取得セットと失セット差の多いチームが上位。
得失セット数が同数の場合は、同一予選リーグの得失点差の多いチームが上位
それも同点の場合は該当対戦の勝者。予選リーグで引き分けている場合は抽選で決定。
- h. 得点の種類
 - . 1 点 = 通常の得点
 - . 2 点 = フリースローラインの外側に 10 メートルラインを設け、その外側からシュートして得点した場合。サイドからの指定ゾーンからの得点の場合。
相手チームのパスをカットして、そのまま得点した場合。
相手チームのパスミス・キャッチミスマイボールにして、そのまま得点の場合。
但し、パスカットに出たが、マイボールとしてコントロールできず、それを相手が確保しても 2 点の権利は発生しない。キャッチミスやパスミスでも、同様である。
また、カットやミスを衝いてのマイボールでも、その後、反則があった場合には、その権利は消滅。
 - . 3 点 = GK 役の手が得点をした場合。
 - . 7 m スロー
7 m が与えられた選手のみがスロー出来る。但し、負傷してスローが出来ない場合は、交代を認められる。